

★ 提案38に賛成の議論 ★

患者擁護活動家、医師、看護師、医学研究者らが、提案38への賛成を呼びかけ

Alzheimer's病協会、Michael J. Fox財団、アメリカ看護師協会\ California、ALS協会、全米多発性硬化症協会、前立腺がん財団をはじめとする主要な患者支援団体はいずれも、提案38への賛成を呼びかけています。それは、あなたやあなたの大切な人の命を救う可能性があるからです。

「あと数週間でこの世を去るはずだったところに、画期的な免疫療法のおかげでもう一度生きるチャンスが与えられました。提案38には、賛成に投票しましょう。深刻な診断に直面するすべての家族が、同じ希望を得るに値します。」

—Laurie Adami、がんサバイバー・患者擁護活動家、Los Angeles

命を救う免疫学研究による病気の治療と予防のために—提案38に賛成を提案38は、ほぼすべての家庭に影響を及ぼす病気に対する画期的な治療法・治療薬の開発を加速させます。資金の少なくとも半分は、特にがん、心疾患、Alzheimer's病の研究に充てられています。

「免疫学は、体の免疫システムを活用して、病気を検知し、阻止する学問です。今日、画期的な免疫療法によって、メラノーマ、肺がん、白血病といったがんがすでに治療しつつあります。パーキンソン病、心疾患、糖尿病などの疾患を予防するための有望な研究が進められています。」

—Mark Davis, Ph.D.、全米科学アカデミーおよび全米医学アカデミー会員

「65歳以上の9人に1人がAlzheimer's病を患っていますが、現時点では効果的な治療法はありません。提案38への賛成は、Alzheimer's病や認知症と向き合っている何百万人もの患者とその家族に、治療法や根治法発見への真の希望をもたらします。」

—Susan Disney Lord、アルツハイマー病Los Angeles理事長

連邦政府による医学研究に対する資金削減の影響を緩和

連邦政府による巨額の資金削減と先行き不透明感により、非営利研究機関や大学で不可欠な医学研究が滞り、命を救う治療法の開発が遅れています。

提案38は、画期的な免疫学研究のための安定した資金源を確保するものです。資金の全額は、California州内の非営利大学・研究機関にのみ充てられ、California州が医学イノベーションで全米をリードする一助となるとともに、トップクラスの科学者や大学間の連携を促進し、数万人規模の高賃金雇用を創出します。

「免疫療法は、がん治療の未来を変えつつあります。提案38は、人命を救う治療法の開発を加速させると同時に、医療イノベーションにおけるCalifornia州の世界的なリーダーとしての役割を強化することにつながるでしょう。」

—Gina Carithers、前立腺がん財団 会長兼最高経営責任者

California州民の医療費を削減

提案38を通じて開発された治療法や免疫療法は、Californiaの患者に対して20%割引で提供されなければなりません。最も深刻な疾病の予防と治療は、長期的な医療費の削減にもつながり、州や家庭に数百億ドルの医療費削減をもたらします。

厳格な説明責任と納税者保護

提案38は、州や納税者に実質的な負担をかけずに、その費用を賄えるよう設計されています。成功した免疫療法のライセンス収入の10%は、利子を含む債券の費用を賄うために、Californiaに還元されなければなりません。提案38には、以下のような厳格な説明責任の要件も盛り込まれています：

- 2%を上限とする州の管理費用
- 支出の公開
- 独立した財務監査
- 営利法人は助成金の対象外

提案38に賛成：医師、看護師、患者擁護活動家が支持

• ALS 協会 • Alzheimer's病協会 • アメリカ看護師協会\ California • 血液がん連合 • California大腸がん連合 • 肝臓病連合 • Michael J. Fox財団 • 全米多発性硬化症協会 • Northern Californiaパーキンソン病協会 ... ほか多数。

提案38に対する賛成票は、あなたの命やあなたが愛する人の命を救うことができます。どうか、賛成票を投じてください。

www.YesOn38.com

Susan Disney Lord、理事長

Alzheimer's病Los Angeles

Eugene P. Brandon, Ph.D.、理事
ALS協会

Brian Shuch医師 (M.D.)、理事会メンバー
腎臓がん協会

★ 提案38の賛成意見に対する反論 ★

Californiaは生物医学研究への支援を継続すべきです。誰もが、心疾患、がん、Alzheimer's病、その他の深刻な病気に対する新しい治療法を望んでいます。私もそうです。しかし、提案38はその目標を達成するための正しい方法ではありません。

提案38は費用を賄えるという主張は、単なる憶測にすぎません。監査、情報公開、および管理費の上限設定は説明責任の向上にはつながりますが、それだけでは、研究投資が数十億ドルに上る債券の償還額を相殺するのに十分な経済的リターンを生み出す保証にはなりません。

Californiaは、構造的な財政赤字が続いています。提案38では、約84億ドルの債券返済が必要になります。無党派の法律アナリスト室によると、納税者は今後25年間にわたり、年間およそ5億ドルの債務返済を負うこととなります。その長期的な義務は、優先事項の変化に対応するための州の財政的柔軟性をさらに低下させます。

一方、Trump政権による最近の措置により、疾病監視、緊急事態への備え、HIV予防、ワクチン接種体制、検査能力、地域社会における予防活動な

ど、California州の不可欠な公衆衛生プログラムへの資金提供が危機にさらされています。こうした課題は、生物医学研究の枠をはるかに超えて広がっています。

もしCaliforniaが、減少傾向にある連邦政府の支援を補うことを選択するのであれば、選出された公職者は、医療に関するあらゆる優先事項を総合的に検討できるべきです。これに対し、提案38は、将来のニーズや新たな発見にかかわらず、借り入れた数十億ドルを特定の科学分野にのみ充てるものです。研究の優先順位は、通常の予算編成プロセスを通じて決定されるべきです—納税者を数十年にわたる債務に縛り付けるような投票法案によって決定されるべきではありません。提案38に反対票を投じてください。

Robert M Kaplan, Ph.D.

★ 提案38に反対の議論 ★

Californiaは、科学への継続的な投資が不可欠であると認識しています。しかし、当提案はその目標を達成するための最善の方法ではありません。この措置により、California大学の新設研究所を通じて、免疫学および免疫療法の研究を支援するため、約84億ドルの州債発行が承認されることになります。その目的は魅力的ではあるものの、資金調達や政策の枠組みには欠陥があります。

第一に、この提案は、特定の研究テーマに研究資金を振り向けるために、住民発議の活用を継続するものです。Californiaはすでに、幹細胞研究と精密医療それぞれに対して、独立した資金提供プログラムを設けています。この措置により、さらにもう一つの極めて限定的な分野に特化したプログラムが追加されることになります。研究の優先順位は、選挙運動によってではなく、科学的審査と公衆衛生計画を通じて定められるべきです。がん、Alzheimer's病、心疾患は注目に値しますが、精神疾患、腎疾患、眼疾患、その他多くの病気も同様に注目に値します。住民投票による科学政策は、必然的に、最大の科学的可能性や公衆衛生のニーズよりも、最も注目を集めるテーマを優先することになりがちです。

第二に、借入は科学研究の資金調達手段としては不適切です。法律アナリストによると、この措置によって発行が認められる債券により、納税者は約25年間、年間5億ドルの債務返済を負うことになります。債券は通常、高速道路や学校など、便益が予測しやすく長期にわたって使用されるインフラ整備に広く利用されます。科学研究はそれとは異なります。発見が患者の治療の改善につながるまでには、数十年を要することが多く、有望な研究の多くは、市場に出せる治療法を生み出すことなく終わります。

第三に、この提案は、成功した発見によって、州の費用を相殺できるほどの収益が生まれることを前提としています。しかし実際には、大学が独自に新しい治療法を商品化することはめったにありません。公的資金による研究は科学的基盤を築きますが、製品開発、臨床試験、製造、および規制

当局の承認に必要となるはるかに大きなリソースは、通常、民間企業が投じています。社会的な便益は確かに存在しますが、それらは一般的に州の歳入には還元されません。

最後に、この提案では、州の支援を受けて開発された特定の治療法をCaliforniaで割引価格で販売することが義務付けられています。これは魅力的に思えるかもしれませんが、価格が規制されていない他州でこれらの製品の販売を優先するよう、企業にインセンティブを与えることになる可能性があります。

Californiaは生物医学研究への支援を継続すべきです。しかし、研究資金の配分は、戦略的かつ柔軟であり、かつ財政的に責任あるものでなければなりません。科学的な優先事項に関する決定は、長期債務によって賄われる一連の高額な投票法案に基づくのではなく、新たな科学的機会や公衆衛生のニーズに関する専門家の評価に基づいて行われるべきです。

Californiaにはもっと良い選択肢があります。例えば、Scott Wiener上院議員は、国立衛生研究所や国立科学財団をモデルとした、州が資金を提供する研究機関の設立を提案しています。このような機関は、特定の科学分野にリソースを割り当てるのではなく、専門家による科学的審査を通じて優先順位を定め、新たな機会が生まれた際には投資内容を柔軟に調整することができます。この法案は進展を見なかったものの、California大学、全米自動車労働組合、および全米医師・歯科医師連合から支持を得ています。今後、同様の法案が審議される見込みです。

「反対」の投票は、科学を否定するものではありません。それが拒否するのは、非効率的な資金調達の仕組みや、断片的な研究優先順位の決定方法です。Californiaは、より連携の取れた持続可能な政策を通じて、医学研究を支援することができますし、またそうすべきです。

Robert M Kaplan, Ph.D.

38

★ 提案38への反対意見に対する反論 ★

人命を救う免疫学の医学研究にとって、提案38への賛成は不可欠

今日、画期的な免疫療法によって、メラノーマ、肺がん、白血病といったがんがすでに治癒しつつあります。Alzheimer's病、心疾患、パーキンソン病、ALSなどをはじめとする病気の治療や予防に向けた、有望な研究が進められています。

連邦政府による大規模な資金削減が、人命を救う治療法の開発に向けた進展を脅かしている

提案38への賛成により、Californiaの大学や非営利の研究機関が、最も重篤な病気の治療と予防に向けた、極めて重要な免疫学研究を継続できるようになります。

「免疫学が私の命を救ってくれました—今ではがんのない生活を送ることができています。そして、それは他にも何百万人もの命を救うことができるかもしれません。」

—Andrew Dale、免疫療法患者・がんサバイバー

提案38への賛成は、その費用を賄えるよう設計されている—納税者に負担はかからない

免疫療法のライセンス収入の10%は、債券費用を賄うために、Californiaに還元されなければなりません。これらの要件は、本措置に明記されています。

提案38への賛成(YES)は、厳格な説明責任と透明性を義務付ける

- 2%を上限とする州の管理費用
- 支出の公開
- 独立した財務監査

提案38への賛成は医療費を削減する

提案38を通じて開発された免疫療法は、Californiaの患者に対して20%割引で提供されなければなりません。病気の予防と治療は、長期的な医療費の面で、各家庭や州に数十億ドルの節約をもたらすことになるでしょう。

医師、看護師、患者擁護活動家が、提案38への賛成を呼びかけている

- Alzheimer's病協会 • アメリカ看護師協会\California • ALS協会 • 腎臓がん協会 • メラノーマ研究連合 • 全米多発性硬化症協会 • パーキンソン病研究のためのMichael J. Fox財団 ...ほか多数

命を救う治療法を支援してください。提案38に賛成票を投じてください。

www.YESon38.com

Andrew Dale、がんサバイバー
Santa Monica

Anne M. Holloway、役員会メンバー
パーキンソン病研究のためのMichael J. Fox財団

Chris Tarver、正看護師(R.N.)、会長
アメリカ看護師協会\California